

# さくら組

22号 1968.9 ボーイスカウト京都38回

少年隊

## 9月のテーマ 通信(1)

通信と聞いて、多くのスカウトはすぐにあのいやな手旗やモールス信号を、思いつかべるでしょう。前(さんぱち)にも書いてあるように、スカウトは緊急の場合に通信すると言う目的を持っています。しかしそれでなければなりません。初級スカウトにならなければ、身ぶり信号というものをマスターしなければなりません。また、汽車に關係のある鉄道信号。船に關係のある信号。お天気に関係ある気象信号、その他あちこちにいろいろな信号があります。

一体通信とは何で、何の為にあるのでしょうか。

わたしたち人間は「言葉」をしゃべります。そして自分の思っていることを相手に伝えるわけです。次に、声のとどかない所へは、「文字」というものを作り明し、「文字」を利用して相手に伝えるわけです。

そして、いろいろな言葉をいろいろな記号に置き換えたものが信号なのです。いちいち大声をはりあげて「全員集合」とさけぶよりは、ツートントントン(ツツツ)と笛を吹いた方が便利でしょう。「気をつけ、休め、すわれ、解散等」の身ぶり信号も、いちいち上班や班長が声をはりあげてさけぶよりは、手をすみやかに動かした方が便利です。忍者が使う信号は相手にはわからないけれども、味方の忍者にはすぐわかる。これが暗号なのです。君たちの班の中でもステキな暗号を作ったり、楽しいじゃありませんか。「身ぶり信号・手旗信号・モールス信号」は全国のスカウトの暗号かもしれないのです。

より多くの伝達の方法を知り、そしてそれになれてあくことが大切になってくるのです。より多くの伝達の方法を知つていると、よりすみやかに、より楽かに、自分が考えたときに伝わって行きます。だから常に、お互に通信の「うで」をみがいておかねばならないのです。毎日少しずつマスターして行こうではありませんか!

## 年間プログラム(1968年度)

来る7日のG.Mで本年度のプログラムが決定されました。

月	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
テ	通	救	觀	計	基	電	門	工	通	ハ	準	野
マ	信	急	察	測	本	分	拓	作	信	イ	キ	備

## 9月のプログラム

隊

- 7日 19:00 ~ 21:00
- 8日 9:00 ~ 12:00
- 14日 19:00 ~ 21:00
- 15日 8:30 ~ 12:00

班編成

試験会

上進式(18:00 ~ 進級式・今出君さよなら集会)

G.T

22日 9:00 ~ 12:00 試験会

班

	14日	21日	28日	29日		14日	21日	28日	29日
野牛	集会 14:30~		訓練 19:00~	訓練 19:00~		鯨	訓練 15:00~	訓練 14:30~	ハイク 18:00~
鷲			訓練 14:30~	訓練 9:30~		燕		訓練 14:30~	訓練 9:30~

## ☆新しい年度を向えて

本年は38回が誕生して早くも10年目に当ります。少年隊のシステムは、前年度と同じ4班ですが、新しくグリンバーに広瀬君(ヨイ班)をまじえています。しかし班員の数は9名と多くなりました。おおせりの班員をかかえて、苦しい状態ですがグリンバーの諸君は経験をうまくいかして班員を指導し、いっそまとまと班に育てて行くことを期待しています。

「班長諸君にひとこと」

班長として1年よくがんばってくれました。しかし今年1年前のままでいいません。前年度よりずっと進歩がなければ、班員りめんどうをよく見たとは言えませんし、スカウトとしてはず"かしこいこと"です。

本部の方もぐっと充実し、たくさんのスタッフが集まりました。隊長以下副長・副長補・隊付・上級班長と総勢9人で、諸君たちが班と同数です。本部員も4~5人でよくがんばります。

スカウト全員で「サンバチ」をきずきあげていきましょう。

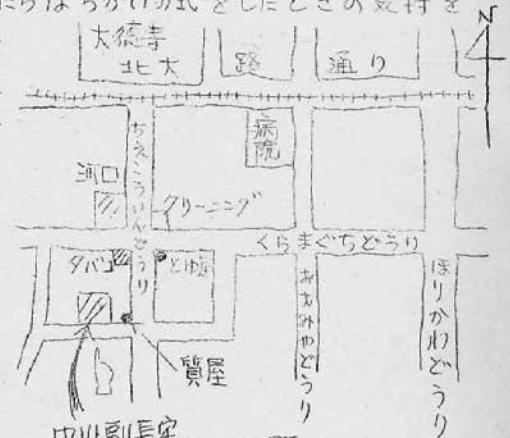
最後に、隊のスローガンのひとつとして次の言葉を上げておきます。

「初心忘れるごとなかりし」

ふるくさり文句のようですが、君たちはちかい式をしたときの気持ちをかげていまおか。ひとりひとり入隊したときの気持ちを新たにふりかえてみましょう。きっとおばらしリスカウトになろうと希望をもやしていたことでしょう。よきスカウトとして一生を送ろうと思っていくことでしょう。

本部員も全員そう思っていました。

苦しいときは、やになったときには自分たちのちから式を思い出して下さり。



☆ 今、隊長は第1線をしりぞいて君たちの直接の指導をしませんが、2人の副長が協力して今までの隊長の役目をやって行きます。また3人の隊員も協力してやってゆきます。

右に中川副長宅の地図をのせますからどんどん押しかけて行って話を聞いたり進級式時も見て下さい。

